

有珠山

1 概況

火山活動に変化はなく静穏に経過しました。

2 噴煙活動の状況

西山西麓(N)火口群のN-B火口の噴煙は、概ね火口上 100m以下で推移しました。山頂火口原、昭和新山でも特別な変化はありませんでした。金比羅山(K)火口群の噴気は観測されませんでした。

3 上空からの観測結果

5月1日に北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、西山西麓のN-B火口、山頂火口原のI火口・小有珠南東麓・銀沼火口で白色の噴気が確認できました。金比羅山火口群のK-A火口・K-B火口は、ともに水溜まりで噴気や熱水湧出は認められませんでした。これらの状況は4月の調査観測時と変わりません。

4 地震活動の状況

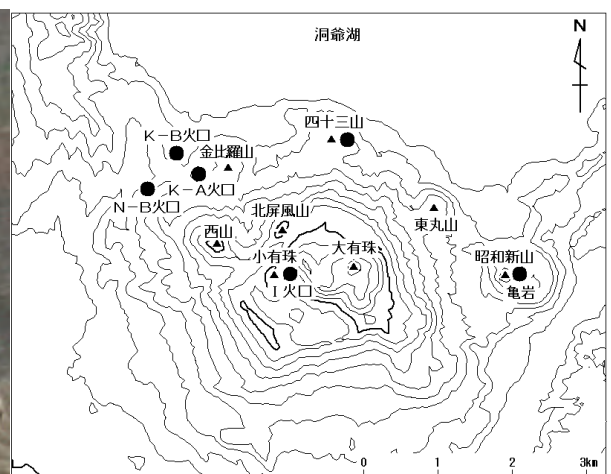
地震回数は1日あたり0~3回で推移しました。震源はほとんどが山頂火口原の浅いところ(深さ1~2km)と推定されます。火山性微動および空振は2001年9月以降観測されていません。

月別地震回数(A点)

2002~2003年	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
地震回数	23	26	17	19	21	18	24	22	29	21	28	17
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

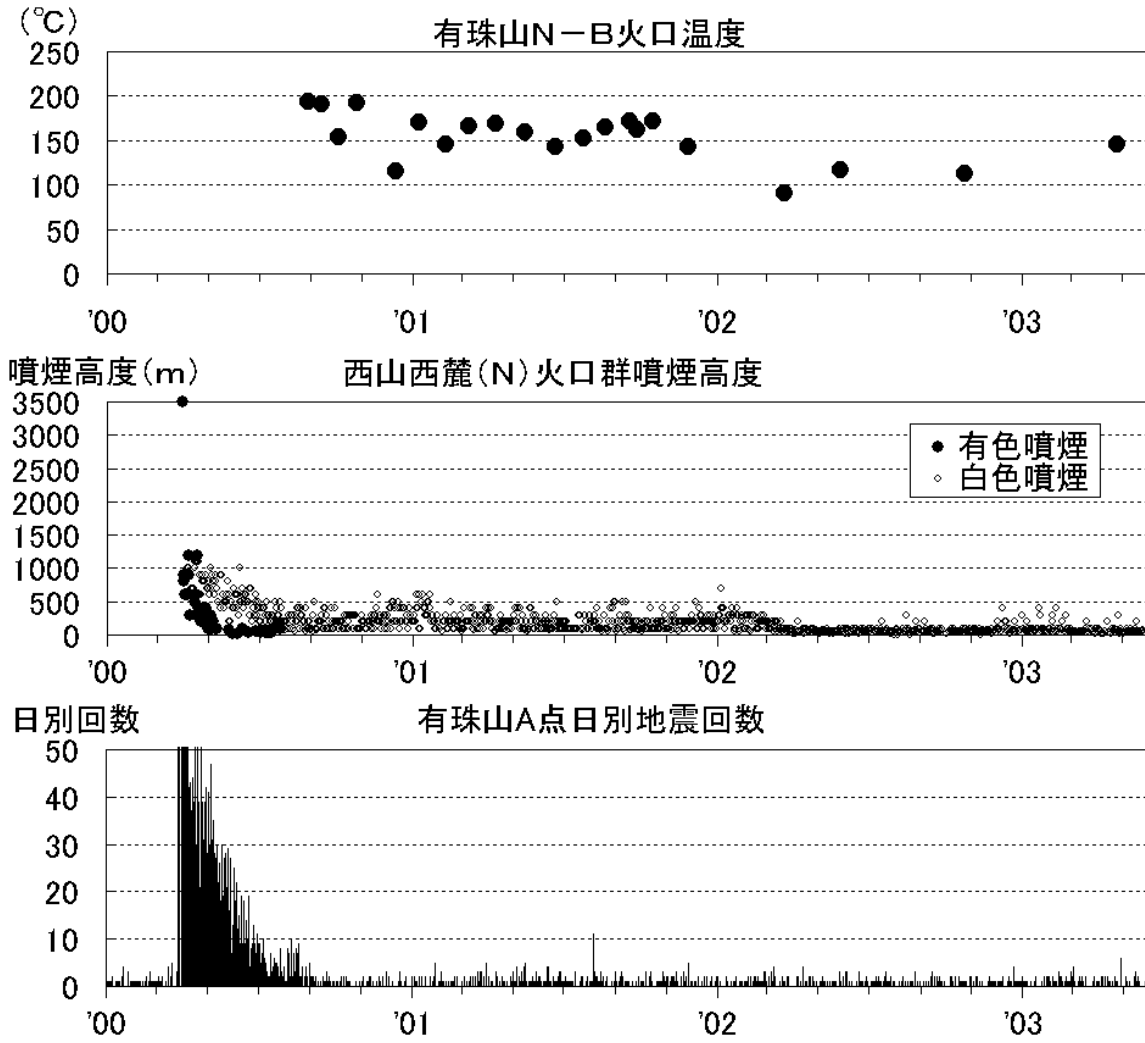
5 地殻変動の状況

西山西麓を中心とする収縮傾向は2002年春頃まで鈍化しながら続いていましたが、その後の変化は、1980年代から続いている山頂部の定常的な沈降に伴う動きを表していると考えられます。

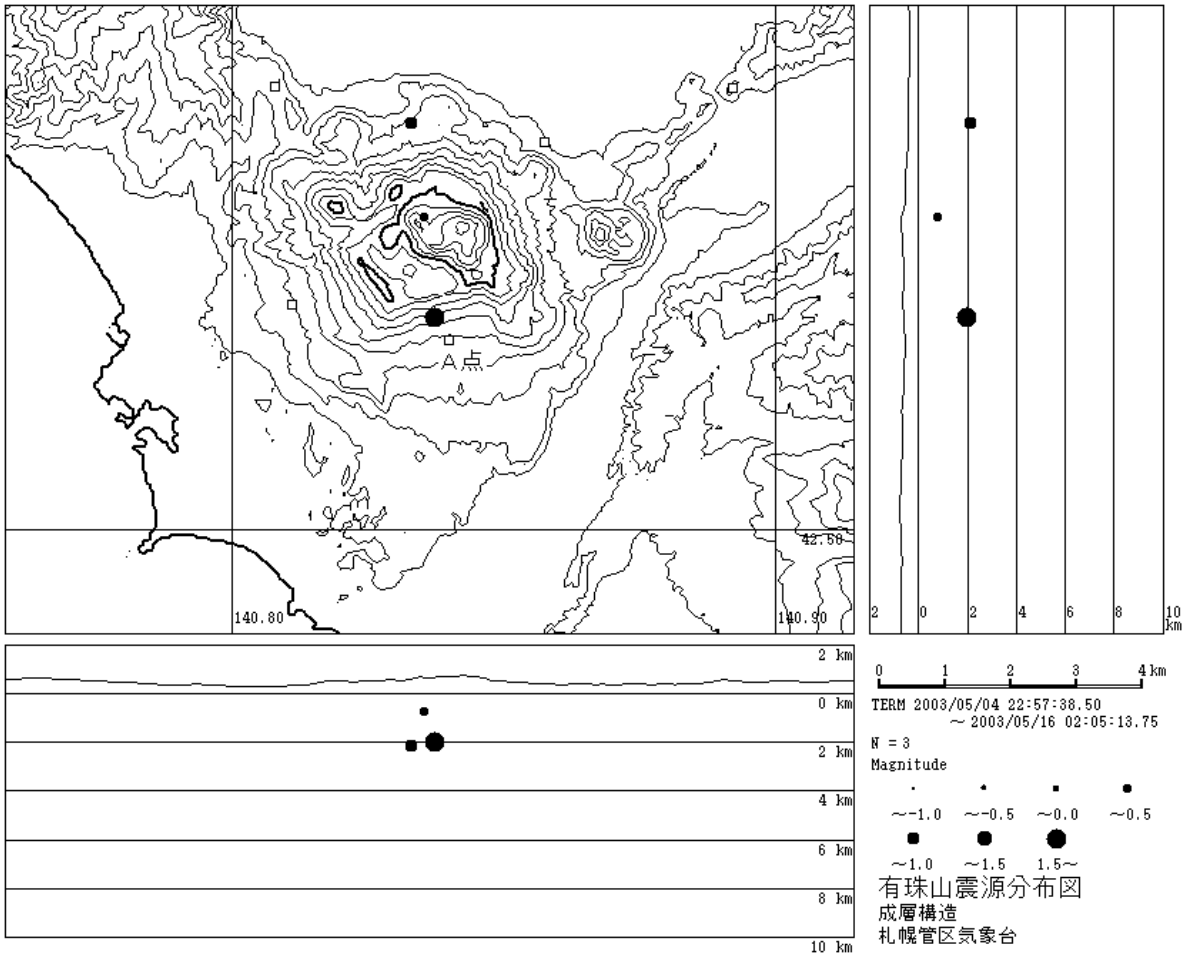


北西側上空から見た N-B 火口
(5月1日、北海道開発局のヘリコプターから撮影)

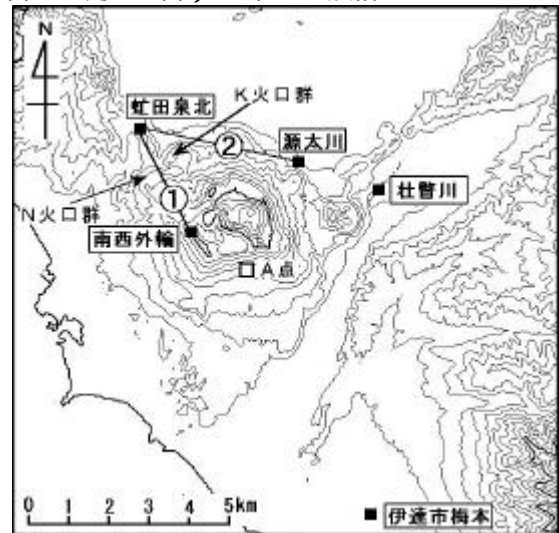
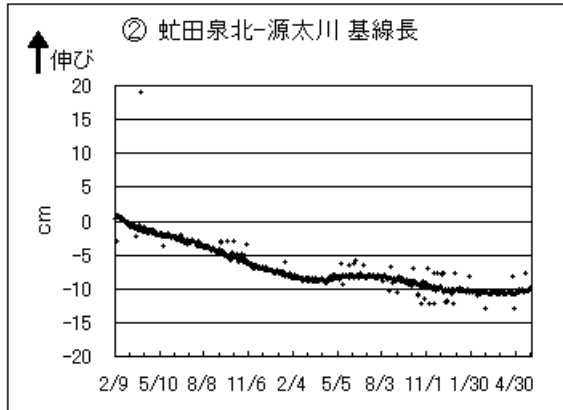
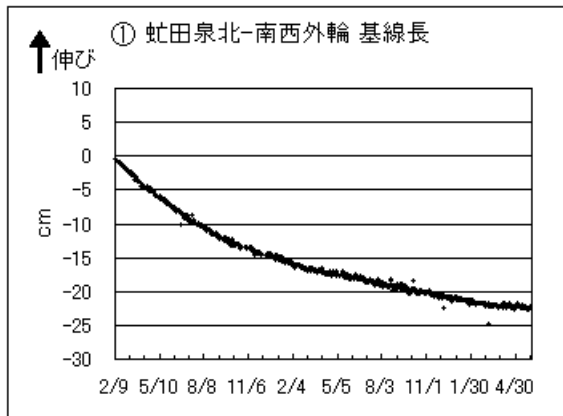
有珠山周辺図



有珠山火山活動經過図(日別、2000年1月1日~2003年5月31日)



有珠山震源分布図(2003年5月1日~5月31日) 印は地震計



有珠山基線長变化(2001年2月9日~2003年5月31日)